

学 位 名	博士 (社会福祉学)	研 究 科 攻 専	社会福祉学研究科 社会福祉学専攻
学 籍 番 号	—	氏 名	水島 正浩
学 位 論 文 題 目	ソーシャルワーカーの倫理的ジレンマに関する研究—組織型ソーシャルワーカー及び独立型ソーシャルワーカーの比較分析を中心として—		
審 査 の 結 果	(合格) ・ 不合格		
学 位 授 与 年 月 日	令和4年3月17日		
審 査 委 員 会	【審査委員長】 中島 恒雄 教授 【審査委員】 伊東 眞理子 教授 【審査委員】 田中 喜美子 教授		

### 《論文審査の結果の要旨》

上記論文は、ソーシャルワーカー（SWと略す）を、組織型と独立型とに分け、その比較分析を「倫理的ジレンマ」一点に絞り焦点を当て論考を重ねた研究論文である。著者は、過去の口頭試問で指摘され続けた内容を一新し、今回、再度の本審査と口頭試問が行なわれたのである。

審査基準は、文部科学省の一般的な博士論文審査に関する基準と本学や一般の基準と、これ迄の口頭試問で指摘されて来た内容等々の修正や添削ができたのかを中心として審査が行なわれた。その結果は、以下の通りである。

1. SW を組織型と独立型とに分類し、比較分析を「倫理的ジレンマ」に焦点を当て、深く論考を重ねている。ここまで「倫理的ジレンマ」に特化し、重大なるデータを揃えて、深く迫った論文は希少性が高く評価したい。
2. 論理的構成が深くなされており、SW としての社会福祉専門職の実践的な行為の改善に寄与、貢献するものであることを認める。
3. この論文は、日本のみならず、世界中が直面している社会福祉の問題解決に役立つ論文といえる。

以上